

三沢市立三沢病院内科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 6年 加福陽子

こんにちは。弘前大学医学部6年の加福陽子と申します。2022年4月11日から2022年5月13日の期間、内科で4週間実習をさせていただきました。

6年生の実習は大学病院内だけではなく、青森県内の様々な病院・様々な診療科から自由に選択することが可能です。三沢病院の内科では、臨床に近い実習ができるということで、是非勉強させて頂きたいと思い、今回選択させていただきました。

実習内容としては、毎日、外来にいらした患者さんの問診、診察を行います。一番の目標は患者さんをご自宅に帰しても良い状態であるのかを判断することです。そのため、患者さんの主訴を

聞いて、主訴から疑われる危険な疾患を列挙し、当てはまる症状や身体所見がないかを問診・診察で確認し、それらの危険な疾患を除外していくことが必要となります。診察後、検査や処方を考える場合もあります。一通り終了した後、指導医の先生からフィードバックを頂き、自分に足りなかった部分や更に深く勉強すべきことを整理します。

実習を通して難しかったことは、症状から疾患を連想することです。今までの学習では、疾患から症状を考えることが多かったため、逆方向の考え方となると自分の頭の中が整理されていないことを痛感しました。また、問診・診察では、型にそって機械的に聞くだけではなく、自分で特に必要な項目を考えるという点も難しかったです。さらには検査や治療の計画も初めてのことで、反省の毎日でした。

しかし、4週間毎日患者さんを担当させて頂ける為、徐々にできることが増えていき、今までは機械的に聞いていた質問も、疾患を意識しながら聞くことができるようになりました。また実際に始めから最後まで1人の患者さんを担当させて頂いて、責任の重さを実感しました。「家に帰す」という一つの対応にとっても、沢山の根拠が必要で有り、日々考えながら実習をすることができました。

実習期間は、内科の星先生にご指導頂きました。お忙しい中、毎日振り返りの時間を設けて頂き、自分に足りなかったところや改善点、学習すべきことを重点的に教えて頂きました。4週間で、沢山のことを教えて頂きましたが、「知識は行動を見て判断する」「先生によってそれぞれの正解がある」という2点が特に印象に残っています。前者については、曖昧な知識では不十分で、自分で説明したり実行に移したりできる状態に仕上げなければいけないと、実習を通して実感しました。後者については、私は今まで、先生方の診察やカルテをみて、自分の考えは正しい又は間違っていると判断していたので、この考え方はとても新鮮でした。「絶対」という考え方はなく、自分で納得できる正解を探すことが大切なのだと学びました。

その他、腹部超音波検査も見学させて頂きました。技師の先生方の手技を近くで見学することができ、また実際にエコーを当てる機会も設けて頂きました。有り難うございました。



病院のスタッフの方々もとても優しく、分からないことも丁寧に教えて頂きました。特に、内科外来のスタッフの方々には毎日大変お世話になりました。お忙しい中、手厚いサポートをして頂き、充実した4週間とすることができました。この場を借りて、お礼申し上げます。本当に有り難うございました。

最後に、ご指導頂いた星先生、海老名先生、他科の先生方、医療スタッフの方々、事務の方々、診察を担当させて頂いた患者さん、すべての方に感謝申し上げます。三沢病院で実習できたことを嬉しく思います。非常に有意義な4週間でした。今回得られたことを忘れず、今後も日々精進します。4週間、ありがとうございました。

2022.4.11～2022.5.13